

## 我々にとっての教育システム情報学マップ ～問いの体系化の試みとその共有～

オーガナイザ：近藤 伸彦（東京都立大学），田中 孝治（金沢工業大学），山元 翔（近畿大学），  
大崎 理乃（信州大学），米谷 雄介（香川大学），高橋 聡（関東学院大学），  
田和辻 可昌（東京大学），東本 崇仁（千葉工業大学），  
林 佑樹（大阪公立大学），光原 弘幸（徳島大学）

### 【本企画の背景と趣旨】

教育システム情報学会（JSiSE）は、今年で設立 50 周年を迎えます。これにともない、50 周年記念事業としてさまざまな企画が進められていますが、そのひとつに、本分野における研究者の皆様が解決に取り組む様々な「問い」を体系化し、「教育システム情報学マップ」を作成する「教育システム情報学マップ作成 WG」があります。本セッションは、本 WG で取り組んでいる「教育システム情報学における問いの体系化」および「研究マップ作成」について、学会内外のさまざまな方を交えてディスカッションする場として企画提案するものです。

本 WG ではこれまで、JSiSE 学会誌 Vol.39, No.2 (2022) および Vol.40, No.2 (2023) における解説特集の掲載や、2022 年度、2023 年度全国大会プレカンファレンスの企画など、およそ 3 年弱の活動の中でさまざまな議論を進めてきました。今回のセッションでは、教育システム情報学やその問いの位置付け、そして教育システム情報学の価値を共有するためのさまざまなマップを提示し、これに基づくディスカッションを行います。具体的には、「問いに基づいた議論」に資するマップ作りに向けて、教育システム情報学研究の知識体系化、本分野の研究者や学生に向けたマップ、そして本分野の外部の方々を意識したマップ、という観点で検討を進めた結果としてまとめた提案である、以下の 3 つのアウトプットに関する議論を行います。

- JSiSE の研究オントロジー
- JSiSE 防災教育マップ
- JSiSE 研究の 5W1H マップ

本セッションでは、趣旨説明およびこれまでの WG の活動紹介や議論内容を共有したのち、上述のアウトプットを示し、これらをもとに、実際にこれを本分野のステークホルダーが利用することも想定しながら、教育システム情報学のシニア研究者の先生方（柏原昭博先生、小松川浩先生、松居辰則先生、瀬田和久先生、三石大先生、中野裕司先生、金子大輔先生、小尻智子先生、長谷川忍先生、山本樹先生）との公開ディスカッションを行い、また多くの参加者の方々と意見交換を行いたいと考えています。本セッションでの議論に基づいて、次年度の学会誌において解説特集を組み、本学会のステークホルダーに広く資する解説記事を執筆することで本 WG の最終アウトプットとすることを予定しております。

本セッションの議論は、参加者の皆様にとっても、本分野とご自身との関係を改めて問い直す機会としていただけるものと考えております。ぜひ多くの方々と一緒に「教育システム情報学マップ」について議論を深めることができれば幸いです。

### 【プログラムの構成】

- 09:00-09:10 趣旨説明・これまでの WG の活動紹介、これまでの議論の説明  
09:10-11:40 各テーマについての公開ディスカッション（各テーマ 50 分を予定）  
11:40-11:50 まとめ